

令和3年1月30日

DARAZコミュニティ放送 第60回番組審議会議事録

株式会社DARAZコミュニティ放送

1. 開催年月日 令和3年 1月 21日 (木) 13:00~14:00

2. 場所 鳥取県米子市法勝寺町 70 番地
DARAZ CREATE BOX 2 階会議室

3. 出席状況 総委員数 6名
出席委員数 4名
欠席委員数 2名
出席委員の氏名
石賀 治彦 委員
角 香利 委員
本城 祐子 委員
大原 啓道 委員
放送事業者側出席者名
代表取締役社長 富田寛
番組制作業務部 永富久之
番組制作業務部 芝吹麻衣

4. 議題
○ 番組についての審議

5. 審議の内容
① 番組についての主な意見

番組名：「しちだ教育研究所 提供 七田厚のハッピートーク」

放送日時：毎週土曜 7:45~8:00 (録音番組)

出演者：七田厚 (しちだ教育研究所)、若槻裕子、他ゲスト

内容：しちだ教育研究所・七田厚さんと楽しく過ごす15分番組。日本最古の歴史書である古事記をわかりやすく紹介している「聴く古事記」の紹介や、厚先生に届いている子育て相談のお話、ゲストをお招きしてのトーク、絵本の読み聞かせなど、

バリエーション豊かにお届けします。

<石賀委員>

- ・聴く古事記は自分には高尚でわからなかった
- ・しちだ教育研究所についての知識がないので、そこを前提として教えてほしい
- ・漢字の歌は覚えられない、聞きづらく感じた
- ・もう少し一般庶民に届くようなことをした方が、施設のユーザー層にとってもよいのでは

<角委員>

- ・聴く古事記は大人も子供も楽しめる内容でよいと思った
- ・漢字の歌の説明は1回聞いて書くことはできなかったが、何回か聞くうちに覚えて、声を出して歌ったら楽しく覚えられそう
- ・エンディングの歌が子どものしつけによさそう

<大原委員>

- ・特に15分番組は他の番組も含めて内容が薄くなっているように感じる
- ・番組数も増えているので簡単に制作しすぎているのではないか
- ・聴く古事記は初めて聞く人にとっては聞き取りにくいのではないか
- ・例えば「真名井」について解説があってもよのではないか
- ・漢字の歌は試しに書いてみたが書けなかった

<本城委員>

- ・軽い気持ちで聞き始めたら最後まで難しくまったくわからなかった
- ・最初に「ここがポイント」と解説してもらえたら聞く準備ができると思う
- ・幼児教育にしては、あまりにもきちんとしすぎている
- ・子供たちと一緒に何かした方が企業イメージもより伝わるのではないか

番組名：「島津組 愛あるくらし clasimazu（くらしまず）」

放送日時：毎週木曜 14:45～15:00（録音番組）

出演：ふじみん、島津組スタッフ

内容：島津組が展開するブランド「clasimazu」は、家を建てたい、リフォームをしたい、不動産の売買をしたいというニーズはもちろん、おかねや法律、家族、相続などの難しいお困りごとにも、専門家のネットワークを活用し、サポートします。番組では、この「clasimazu」をテーマに「すまい」や「おかね」「くらし」に関する催しや情報をたっぷりお届けします。

<角委員>

- ・安定感があって安心して聴ける
- ・聴きやすく役に立つ情報、なるほどと思える情報が得られる
- ・開局当時から放送している番組が続いていること、パーソナリティがいることが財産だと思うので大切にしてほしい

<石原委員>

- ・今回は最後に営業案内があるだけで内容が薄く感じた
- ・「ダベリ」も大事だが、短い間にも話の焦点が必要と感じる
- ・次回も聞きたいと思われる、次につながるポイントを作る工夫が必要

<角委員>

- ・全体的に聞き取りやすくして気楽に聞ける内容だったと思う
- ・イブとクリスマスの違いが知られて勉強になった
- ・クリスマス、イルミネーションなど季節に合った話題がよい
- ・イルミネーションに関する疑問が解消できてよかった

<石賀委員>

- ・最後の、イルミネーションをどうするかにもう少し重点を置いて話した方がよかったのではと思う
- ・「くらしまず」の“ず”に打消しの意味を感じて違和感を感じる

6. 審議機関の答申、または改善意見に対してとった措置
特になし

7. 審議機関の答申、または意見の概要公表
事務所に備え置き 令和3年 1月 30日
ホームページに掲示 令和3年 1月 31日

8. その他の参考事項
特になし